

# 名大の時間

## コロナ禍の学生生活を振り返って

海道出身ではなく、また学科に同郷の人もいなかったため、とても不安だったのを覚えています。入学式の数日後に行われた宿泊オリエンテーションでは、先輩が企画してくださったレクリエーションをおこなったり、学科の先生方と一緒に食事をしたりして、これから一緒に学んでいく仲間との交流をしました。この行事は、私の学生生活

に対する不安を取り除き、新たな友との出合いの場ともなりました。

最初の1年間を個人的で元氣な仲間と、そして学生以上に個人的で優しい先生方と過ごし、2年生からの生活ももっと楽しむぞと意気込んでいました。しかし、その望みは奪われませんでした。「新型コロナウイルス感染症」の流行です。

は、ほぼオンライン授業へと切り替わり、バイト先と家の行き来をするだけの生活となりました。1年間一緒に学んでいた仲間と急に会えなくなり、サークルの活動や大学祭などのイベントも無くなり、気分は沈んでいききました。

その後、徐々に規制が無くなり、授業も少しずつ対面へと戻り、再び仲間と一緒に学べるようになった当時、

遊んだり、一緒にご飯を食べたりして残りの学生生活を楽しんでいきます。



最後に、学生生活の一番楽しい時期を奪われました。

再び明るく生活できるように became した。コロナ禍の学生生活を振り返って「人との繋がりが生きていく上で大切なことであると改めて感じました。

仲間と直接会える友と河川敷へ行って

が、そこから学んだことを忘れず、人に関わる職業に就職する人間として、残りの学生生活でさらに成長できればと思います。

社会保育学科4年

高久萌々香

私は、平成最後の4月に名寄市立大学に入学しました。北

対面だった授業

戻り、再び仲間と一緒に学べるようになった当時、

仲間と直接会える友と河川敷へ行って

が、そこから学んだことを忘れず、人に関わる職業に就職する人間として、残りの学生生活でさらに成長できればと思います。

社会保育学科4年

高久萌々香